

脳幹梗塞を発症し注意障害を呈した症例に対し運転支援を行い

大型車の運転再開に至った症例の報告

桔梗ヶ原病院リハビリテーション部

○須田広樹，佐藤理恵，平林亜美，松塚翔司，園原和樹

【抄録】

脳幹梗塞を発症後、臨床症状及び検査所見において注意障害を呈した症例を経験した。症例は47歳男性。H29年3月8日、大型トラックの運転中に、左半身の麻痺及び構音障害を自覚し救急搬送された。その後、運転支援目的にて当院に紹介となった。当院における運転支援プログラムにより復職・運転再開され1か月後に大型トラックの運転を再開した。脳幹梗塞による注意障害から運転再開に至った希少な例としてここに報告する。